

YAAA

山形県広告業協会 YAAA通信

2004年12月発行

vol.9

- | | | | | |
|-----------------------|---------------|------------------|-------------------|------------|
| (株)アイン企画 | (株)アドコーポレーション | (株)アドバタイジング・エフ | (株)イベントプロデュース ガッツ | (株)ウイングエイト |
| (株)エス・アイ・エスコミュニケーションズ | (株)キンダイ通信社 | (株)東日本朝日広告社 山形支店 | (株)北宣 | (株)青陵社 |
| (株)日本プレス広告社 | (株)ハイスタッフ | (株)東日本朝日広告社 山形支店 | (株)北宣 | (株)ホロン山形支社 |
| (株)山形アドビューロ | (株)山新広告社 | (有)和広エーシー | | |

韓流ブーム? 日流ブーム? 国交正常化40周年を前に山形と日本と韓国を考えよう。

若者の交流は高校で取り組み、山形県立天童高校では平成16年1月30日に、韓国ソウル近郊の城南(スンナム)にある佛谷(ブルゴク)高等学校と姉妹校締結をした。この日は佛谷高等学校の生徒15名がホームステイのために来形しており、これにあわせて締結式が行われた。両校の交流は、天童高校が平成12年に韓国への修学旅行で同校を訪問し交流会などを実施したことをきっかけにはじまり、総合学科の設立に伴い平成12年からハンガルの語と中国語の選択学科の設立に伴い平成12年からハンガルの語と中国語など年々深まってきた。天童高校でのハンガルの語授業は韓国教師によるもので、これからの日韓交流に大いに役立つ事が期待される。

山形城北高等学校では、18年前から韓国ソウル市にある正義(チョンギ)女子高等学校と姉妹校を締結し、両校で様々な交流を行っている。きっかけは、亡き富澤校長の友人(在日の方)に対する日本人のいじめられ状態への悲しみからであったという。こんな事ではいけない、これからは隣の国の人とも仲良くできないようではダメだ。その為には若いうちから教育をしなければ、この思いから、姉妹校締結をし交流できる学校を探し始めたのが20年前だった。ちょうど時を同じくして正義女子高等学校校長も同意見から姉妹校を探してたが、両校の締結は容易に思われたが、正義女子高等学校の創始者

若者の交流は高校での取り組み

山形県立天童高校では平成16年1月30日に、韓国ソウル近郊の城南(スンナム)にある佛谷(ブルゴク)高等学校と姉妹校締結をした。この日は佛谷高等学校の生徒15名がホームステイのために来形しており、これにあわせて締結式が行われた。両校の交流は、天童高校が平成12年に韓国への修学旅行で同校を訪問し交流会などを実施したことをきっかけにはじまり、総合学科の設立に伴い平成12年からハンガルの語と中国語の選択学科の設立に伴い平成12年からハンガルの語と中国語など年々深まってきた。天童高校でのハンガルの語授業は韓国教師によるもので、これからの日韓交流に大いに役立つ事が期待される。

山形城北高等学校では、18年前から韓国ソウル市にある正義(チョンギ)女子高等学校と姉妹校を締結し、両校で様々な交流を行っている。きっかけは、亡き富澤校長の友人(在日の方)に対する日本人のいじめられ状態への悲しみからであったという。こんな事ではいけない、これからは隣の国の人とも仲良くできないようではダメだ。その為には若いうちから教育をしなければ、この思いから、姉妹校締結をし交流できる学校を探し始めたのが20年前だった。ちょうど時を同じくして正義女子高等学校校長も同意見から姉妹校を探してたが、両校の締結は容易に思われたが、正義女子高等学校の創始者



県発行のハンガルの語観光パンフレット

※平成15年(1月~12月)外国人旅行者県内受入実績調査より人数はいずれも延べ人数

山形県ソウル事務所開設

来年4月、韓国ソウル特別市鐘路区(チャングク)に「山形県事務所」が開設される。既に開設されている「宮城県事務所」に併設され、県内の観光・物産等をPRし、観光誘客拡大を目指した活動を行う。平成15年の年間外国人旅行者県内受入は宿泊施設9千379人、立寄り施設1万794人、合計2万173人で、その内韓国からの旅行者は796人と全体の4%弱でそのほとんどが蔵王を初めとするスキー客である。隣県の仙台には、直行便運航により年間約1万8000人が観光に訪れているが、その内来県者は5%にも満たないのが現状である。県内外国人旅行者の1位は台湾で1万4963人で全体の74%を占めている。(台湾では「おしん」ブームだそうだが)台湾の旅行者が県内各地を観光するのに対しほとんがスキー客というのが現在の状況である。そのため「山形県事務所」の果たす役割に期待する所である。

YAAA賛助会員

- | | |
|--|---|
| 株式会社 山形新聞社
代表取締役 相馬 健一
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
TEL023-622-5271 | 株式会社 ケーブルテレビ山形
代表取締役 中村 松太郎
〒990-0025
山形市あこや町1-2-4
TEL023-624-5000 |
| 山形放送 株式会社
代表取締役 佐藤 充彦
〒990-8555
山形市旅籠町2-5-12
TEL023-622-6161 | 山形コミュニティ放送 株式会社
代表取締役 玉井 恒
〒990-0043
山形市本町2-4-14 (津多屋ビル)
TEL023-634-0762 |
| 株式会社 山形テレビ
代表取締役 堀田 総
〒990-8511
山形市城西町5-4-1
TEL023-645-1211 | やまがたシティエフエム 株式会社
代表取締役 青柳 等
〒990-2422
山形市中桜田3-1-11
TEL023-625-0788 |
| 株式会社 テレビユー山形
代表取締役 西村 陸
〒990-9536
山形市白山1-11-33
TEL023-624-8111 | 株式会社 ニューメディア
代表取締役 金子 剛三
〒992-0044
米沢市春日4-2-75
TEL0238-24-2525 |
| 株式会社 さくらんぼテレビジョン
代表取締役 山本 惣一
〒990-8539
山形市落合町85
TEL023-635-2111 | 株式会社 荘内日報社
代表取締役 橋本 政之
〒997-0035
鶴岡市馬場町8-29
TEL0235-22-1480 |
| 株式会社 エフエム山形
代表取締役 長谷部 滋
〒990-9543
山形市松山3-14-69
TEL023-622-0804 | |



日韓友情年 2005

進もう未来へ、一緒に世界へ

文章は「日韓友情年2005」ホームページより引用
http://www.jkcf.or.jp/friendship2005/japanese/

「日韓友情年2005」ロゴコンセプト
日韓両国の国旗で構成された円と太極をモチーフに、二人の人物の姿を表現されたものです。仲良く微笑み、お互いに頭をくっつけている一人は、信頼を基礎に未来に向けて準備していくことを示しています。デザインは韓国側で製作したものです。

「日韓友情年2005」コンセプト
日韓両国は、2002年のワールドカップ・サッカー共同開催や「日韓国民交流年」を経て、かつてないほど親近感を深めました。また、両国は、「一日生活圏」の更なる拡大を目指し、経済・社会分野でも日に日に緊密度を増しています。日韓国交正常化40周年となる2005年には、更に文化・経済・社会などあらゆる分野において交流を進め、21世紀を共に歩む日韓関係の礎を築いていきます。

「日韓友情年2005」名称
来年は、外務省が定めた「日韓友情年」です。2003年6月に、盧武鉉(ムヒョン)大統領が来日された際、日韓両首脳は「日韓首脳共同声明」を発表し、国交正常化40周年にあたる明2005年を、両国民間の交流を一層促進する機会とすることに合意しました。その後、両国民間の距離を更に縮め、将来にわたる理解と友情を深めていきたいと思われ、日韓友情年2005」という名称が生まれました。

が反日運動を行っていた経緯から調印は当初うまくいかかった。しかし、説得を重ねた結果姉妹校として締結し、生徒会幹部同士の行き来美術書道等作品の交換からスタートした。その後16年前からは城北高等学校の修学旅行先として姉妹校訪問やホームステイ、選択科目としての在日韓国教師によるハンガルの語授業の開始等がなされている。今年度は2学年生全員の姉妹校訪問もはたしている。

「日韓友情年2005」コンセプト
日韓両国は、2002年のワールドカップ・サッカー共同開催や「日韓国民交流年」を経て、かつてないほど親近感を深めました。また、両国は、「一日生活圏」の更なる拡大を目指し、経済・社会分野でも日に日に緊密度を増しています。日韓国交正常化40周年となる2005年には、更に文化・経済・社会などあらゆる分野において交流を進め、21世紀を共に歩む日韓関係の礎を築いていきます。

決意・熱意

創業時を語る



株式会社 アイン企画
代表取締役 松岡 宏和

本年11月会社設立以来、4回目の引越をして山形市の七日町に事務所を構えました。1978年(昭和53年)12月1日、アイン企画は借家の4帖半から産声を上げました。以来26年間「あっ」という間の時間の流れを感じながら出発しましたが、思いだけは人一倍大きなものを持っていました。創業当初は、「企画会社」って何をやる会社? 会社名の「アイン」とは、どういう意味とよく聞かれましたものでした。その時の答えは、「人身売買以外何でもやります。」ということとそれこそお話をいただいた仕事は「ハイ! やります。」と経験のないことでも「やれます。」と実践を通して、少しずつ、印刷物・出版・イベント・CM・街づくり等のノウハウを積みかさねてきました。今、考えるとかなり無茶なことをやっていたという思いがありますが、要するに、お客様に教えられて育てられてきたというのが実感です。私は当初、よく地域にシンクタンク、出版、企画会社、広告代理店などソフトを扱う会社がどれだけの数があり、しかもどれだけメジャーに食えているかが、地域活性化のバロメーターだと言ってきました。山形でも、広告代理店協会が出来たりソフトを扱う会社が増えてきて、少しずつ変わりつつあるようですが、まだまだ道半ばという感じです。これまで、当社は「山形求人情報」「住まい情報」「家づくりの本」「Be★Happy」など地域のニーズに基づいたそれぞれのテーマを設定して事業を展開してきましたが、これからも創業以来の精神であり、会社理念である「Your Best Partner」をいつまでも忘れずに、地域のために役立つ企業として存在し続けられればと思っております。



株式会社 アドコーポレーション
代表取締役 渡邊 信行

1986年12月8日、河北新報を主要取引媒体として仙台市内のマンションの一室を借り、若干30才にて創業致しました。広告業を通じて「地域社会を大切にそして貢献していこう」といった考えを基本理念に掲げ、東北6県にネットワークをひき、それぞれの地域に根差しながら地域広告を開拓していく、そして100人の会社を作りたい。というような漠然としていて、そして夢のような目標をもっていました。当然、当時の社員の人は誰も信じてはいなかったようです。私自身も会社経営という事の重さに全く考えが至らず、志のようなものと勢いだけで独立したようなものなので、今思うと本当に若さという武器は強いものでもあるし、恐ろしいものだなど、自分の事ながら思い出し笑ってしまいます。そして、創業の翌年に山形に支社を設立したのを皮切りに現在では6県9事業所、130人余名のスタッフの規模にまで成長することができました。運の良さも人材に恵まれたことが現在の状況を作り出した大きな要因だと思いますが、目標達成への強い思いと、ほんの少しの勇気があれば何とかなるもんだな、と感じております。今後何かを目指す若い方々へ少しでも参考にして頂ければうれしく思います。



株式会社 アドバタイジング・エフ
代表取締役 沼沢 善右衛門

15年前の平成元年12月22日、山形市七日町の蜂屋ビル3階の一室、14坪のフロアにテーブル1つ、椅子数個だけで、設立総会が開催され当社が誕生したのです。株主全員でささやかに茶を乾杯し、でも夢は大きく山形に貢献できる広告会社を目指そうと語り合い出発しました。しかし、設立はしたものの事務所には電話も机も何もない、職員すら1人もいない状態でした。そんな中、力強い助っ人を常務として迎えることができました。彼はだれもが知っている「ファイト一発」でお馴染みの大正製薬の宣伝部出身でした。私たちはいろいろな課題に対しその都度広告会社としての考え方や行動について意見を交わしながら一つ一つ解決してきました。その一つ一つの積み重ねの中で、当社の仕事に対する姿勢や方向性が定まってきたのです。そして今日、変化の速い社会の中で過去にとらわれず常にクリエイティブな仕事を通じて、社会に存在価値のある広告会社を目指そうとまた一歩大きく踏み出していきたくて考えています。

eagerness to succeed in executive's own business ventures

第8回全国広告業団体連絡会議 東北ブロック会議福島大会

第8回全国広告業団体連絡会議 東北ブロック会議福島大会が11月10日郡山市で開催され、本協会より13社14名が出席しました。第一部では、各県協会状況発表の後、「広告業協会の役割と今後の発展」をテーマにパネルディスカッションが行われました。本県は高橋総務委員長がパネラーを勤め各県協会の問題や加盟メリット、取り組みなど熱い議論が展開されました。企画コンペの費用・実情など切実な問題や、平泉世界文化遺産登録推進キャンペーンを岩手協会が一丸となって展開しているなど大変有意義な会議となりました。第二部は、(財)白虎隊記念館 早川廣中館長による「幕末の志士とふくしま」と題した記念講演が市民一般参加で行われました。「歴史を学ぶと現在から未来を推測出来る」「経済発展は自然がポイントになる」など志士の行動や思想を通し講演されました。第三部は、約100名が参加しての懇親会が開催され、各県協会員や媒体社の方達と意見・情報交換や交流等 有為な時を過ごしました。



委員会レポート〈企画委員会〉 YAAA広告セミナー「私のクリエイティブ作法」

日頃、当たりまえに思っている気付きのない情景を切り取ったような場面。改めて見てみればインパクトや和むCMの数々。日本経済社 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター 柏秀臣氏を講師に迎え、YAAA第9回セミナーが12月1日国際交流プラザにて開催され、「旭硝子」イメージCMを始め数々のVIDEOを交えて講演されました。柏氏は営業の経験もあることから、営業からクリエイティブまで幅広い内容となりました。「データをもった営業が勝つ」「オリジナルアイデアにこだわる」「リアルに感じることを表現する」など経験に根ざした信念を淡々と話す



柏氏に、会員、賛助会員、クライアントの皆様も大変感銘をうけた講演となりました。

友好・親善・交流 意識を持つ事から始まる日韓の絆

ブームで終わらせることなく～進もう未来へ、一緒に世界へ～

～真の草の根交流の賜・高麗館～ 1人と1人から国と国へ



戸沢村にある「道の駅とざわ」「高麗館」は、韓国の高麗時代の建物を模倣して1997年に建設されています。なぜ現在の様に韓流のおこる以前に？なぜ戸沢村に？その答えは、この「道の駅とざわ」「高麗館」ができるずっと前のある1人の日本人と1人の韓国人の交流にあります。それは1985年。戸沢村で牧場を営みながら農業青年会議所を発足し農業の勉強をしていた日本人のもとに、以前学んでいた学校よりアジア人の農業研修生を受け入れてくれないかという依頼が舞い込みます。アメリカに留学し神学校に通っていたという風変わった経歴を持つこの日本人は、自らの農業に対する熱意と留学中に外国の方にたくさんお世話になった事を今度は自分が返したいという思いから、快く引きうけます。受け入れた研修生と会ってみると、偶然にも以前の神学校に通った韓国の牧師でした。この再会から、農業を勉強したいという韓国の忠清北道堤川市松鶴面の方と戸沢村の農業青年会議所のメンバーの行き来が始まり、1990年には民間人運営の戸沢村国際交流塾が発足。その後戸沢村と松鶴面の人々の交流は生活レベルで進み、児童交流(ホームステイ)や食肉加工研修生の受け入れ、その研修生のハム工房が松鶴面に建ち戸沢会というこちらも民間人運営の協会が立ち上がるまでになりました。道の駅を戸沢村に造るという時には両国の草の根交流は固まっており、折角だから韓国の高麗時代の建物を建てようという「道の駅とざわ」の外観を第3セクターで建設する「高麗館」と統一するよう国土交通省に働きかけ完成したのです。現在も、農業研修生の行き来・児童交流・高麗館でももかみ農楽祭の開催・アジアの花嫁さんを迎えた家族の交流会等を当たり前のように行っています。村民1人1人が他人事ととらえず草の根交流で真に動き、村民でもある戸沢村役場の方々の連携が驚く程うまくいっている結果が形になった。それが「高麗館」なのでしょう。戸沢村国際交流協会会長であり交流のきっかけをつくった1人の日本人、芳賀欣一さんは語っています「国際交流は声高にするものではなく、もっと目立たない普通の生活の中でゆっくりゆっくり進んでいかないと。国際交流協会の名前がなくなった時こそ本当の国際交流ができるんだ」と。



医療・福祉関係ハンガル語ガイドブック



在日本大韓国民団 山形県地方本部 団長 権 純 福

「歳月人を待たず」今年も早、年の瀬を迎えました。師走に入っても例年になく穏やかな天候が続き、振り返れば、空梅雨に猛暑、台風や地震など、激しい気象と天災に見舞われた一年でもありました。中でも新潟県中越地震で被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を願うところです。さて、こここのところ日本では「韓流」(ハンリュ)という言葉もすっかり定着し、隣国韓国に対する熱い眼差しが印象的です。「ヨン様」様様ですね！日本の多くの方々が、韓国の映画やテレビドラマ、音楽などの作品を通して、韓国の歴史や文化、習慣に触れ、理解を深めて下さることは、実に嬉しいことです。韓国でも98年から日本文化の開放が段階的に始まり、若い世代を中心に以前にも増して日本への関心が高まって来ました。今や日韓間の往来は年間360万人。かつての年間1万人から、一日1万人の時代を迎えています。「韓流」を一時的なブームに終わらせず、相互理解の要となる文化交流をいっそう活性化させていきたいものです。来年2005年は、日韓国交正常化40周年の節目の年です。私も韓国国民団本部も従来の地域活動に加え、新たに日韓両国に関する著名人の講演など、訪韓を重ねつつ韓国の関係機関との交流を積極的に計りながら、山形県と韓国間の友好を深めたいと考えております。また、在形韓国人社会としても、地域社会を構成する一員として山形の発展と、日韓間の建設的な関係作りにも貢献すべく、一層力を注いで参りたいと思います。残念ながらいまだに日外国人の地方参政権取得は実現していませんが、皆さんからも是非あたたかいご理解・ご協力戴ければ幸いです。最後に、日ごろから日進月歩の広告や印刷技術の恩恵にあずかりながら、なかなか業界の方々にご挨拶する機会を得ませんでした。「ジンシムロ カムサハムニダ！ アプロド チャルブッタッハムニダ…」(心より感謝します。今後とも宜しくお願いします。)



本年10月に山形県日韓親善協会と在日本大韓国民団山形県地方本部の共催で開催された「キム・ヨンジャコンサート」と「芋煮会」



山形県日韓親善協会 会長 木村莞爾

振り返って考えれば日本と朝鮮半島とは、遠い昔(日本の黎明期～平安期)には、お互いに足しげく、まるで隣の村に行くごとく交流を行い、経済・文化活動を通じて、お互いに発展をしてきたことは歴史的事実である。両国にとって不幸なことは、二度あるいは三度と侵略、敵対関係になり特に第二次世界大戦(朝鮮植民地政策)以来は、相互に不信感を持つ「最も近くて遠い国」になってしまったことである。1965年に、日本と韓国との国交正常化以来、少しずつではあるが交流が盛んになり40年前は年間1万人にも過ぎなかった往来が2002年のワールドカップ共催や韓国における大衆文化開放以降、スポーツを始め文化交流、修学旅行等の青少年交流を中心とし、両国間は、一日1万人を越える人的交流が図られてきており、特に2003年における金浦・羽田間の直行便が開通されてから韓国と日本が益々近くなりました。21世紀に入り、益々混迷を深める国際社会にあって、私たちは、両国間の不幸な時代があったことを理解し修復しそしてそれを乗り越え、日韓新時代を新たに築き上げていく、その信頼を構築し両国が「最も近くて近い国」となっていくことが世界平和の安定の為益々重要な不可欠なものとなって来ております。このような時にこそ一衣帯水の地である韓国と山形県がお互いを理解しあい、また、そして、その手始めとして、山形県人と山形に住んでいる韓国の方々との交流をおおいに行っていくことではありませんか。山形県日韓親善協会は、山形に住む日本人と韓国人とが一人一人、お互いに心から良き隣人として認め合い歴史、文化、アイデンティティ、地域の活性化などを勉強する草の根の交流をし、末永く共存共栄をしていこうとの思いから日韓新時代に思いを寄せる両国の有志により発足をいたしました。発足2年目、2005年は国交正常化40周年にあたります。この記念すべき年に当たり、山形県民と在形の韓国の方々と共に様々な事業を展開して参りたいと、現在検討をしているところです。山形県日韓親善協会の趣旨に賛同し、一緒に日韓親善のために努力していこうではありませんか。皆様方のご参加をお待ちいたしております。



いつも主役は庄内と庄内人!

やっばの ニッポー だの!

本誌 29
支社 14
1 4 8 0
2 3 5 2 2
3 4 2 2
4 2 2 4

NOW ON AIR!
Something new.
Always new. VIGO FM.

Smooth & Relaxin' Music!

VIGO FM 78.8 MHz

やまがたシティエフエム株式会社 TEL 023-625-0788
http://www.vigofm.co.jp

RADIO FM 76.2 MHz

MONSTER
ラジオモンスター

山形コミュニティ放送株式会社

〒990-0043 山形市本町二丁目4番14号(津多屋ビル)
TEL.023(634)0762 FAX.023(633)7622
HPアドレス http://www.fm762.co.jp
e-mail: fm762@eos.ocn.ne.jp

東北地域の
情報配信は
TCN
がおすすぬ

東北ケーブルテレビ
ネットワーク(TCN)
＜東北のケーブルテレビ13局加盟＞
八戸・秋田・岩手・花巻・北上・釜石・水沢・
気仙沼・一関・塩釜・仙台(2局)・山形

ケーブルテレビは
戦略にあわせ、特定エリアでの
CMが可能です！
ムダ打ちがなく、
しかも驚くほど低コスト！！
東北地域以外の関東や関西など、
他の地域にも配信可能。

お問合せはこちら

ケーブルテレビ山形
山形市あこや町1-2-4 TEL 023-624-5000
E-mail koukoku@ma.catvy.ne.jp
URL http://www.catvy.ne.jp